
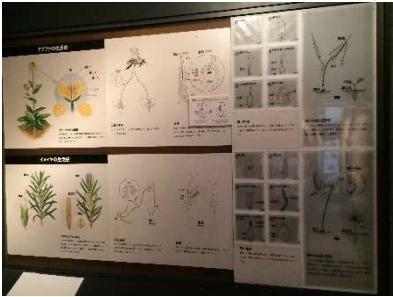








理科 中学校の学習内容（単元）と展示資料との関連表（例）

（第2分野）

学年	単元 いろいろな生物とその 共通点	展示室	展示資料	活用のポイント
中1 （4月）	生物の観察と分類の 仕方 生物の特徴と分類の 仕方	生物の 分類 展示室 生態園		いろいろな生物を比較して見出した共通点や相違点を基にして分類できることを理解するとともに、分類の仕方の基礎を身に付けさせる。
中1 （5月）	生物の体の共通点と 相違点 ①植物の体の共通点と 相違点	生物の 分類 展示室 房総の 生物 展示室 生態園		身近な植物の外部形態の観察を行い、その観察記録などに基づいて、共通点や相違点があることを見出して、植物の体の基本的なつくりを理解させる。また、その共通点や相違点に基づいて植物が分類できることを見出して理解させる。

中1 (6月)	②動物の体の共通点と相違点	生物の分類 展示室 房総の生物展示室 生態園		身近な動物の外部形態の観察を行い、その観察記録などに基づいて、共通点や相違点があることを見出して、動物の体の基本的なつくりを理解すること。また、その共通点や相違点に基づいて動物が分類できることを見出して理解すること。
------------	---------------	---	--	--

学年	単元 大地の成り立ちと変化	展示室	展示資料	活用のポイント
中1 (1月)	身近な地形や地層、 岩石の観察	房総の地学展示室		身近な地形や地層、岩石などの観察を通して、土地の成り立ちや広がり、構成物などについて理解するとともに、観察器具の操作、記録の仕方などの技能を身に付けさせる。
中1 (3月)	地層の重なりと過去の様子	房総の地学展示室		地層の様子やその構成物などから地層のでき方を考察し、重なり方や広がり方についての規則性を見出して理解するとともに、地層とその中の化石を手掛かりとして過去の環境と地質年代を推定できることを理解させる

				<p>・千葉県の地層の様子を調べよう。</p> <p>(・チバニ안의地層の様子を観察しよう)</p>
中1 (1月)	火山と地震 火山活動と火成岩	房総の地学展示室		火山の形、活動の様子及びその噴出物を調べ、それらを地下のマグマの性質と関連付けて理解するとともに、火山岩と深成岩の観察を行い、それらの組織の違いを成因と関連付けて理解させる。
中1 (2月)	地震の伝わり方と地球内部の働き	房総の地学展示室		地震の体験や記録を基に、その揺れの大きさや伝わり方の規則性に気付くとともに、自身の原因を地球内部の働きと関連付けて理解し、地震に伴う土地の変化の様子を理解させる。
中1 (3月)	自然の恵みと火山災害・地震災害	房総の地学展示室		自然がもたらす恵み及び火山災害と地震災害について調べ、これらを火山活動や地震発生の仕組みと関連付けて理解させる。

理科 中学校の学習内容（単元）と展示資料との関連表（例）

（第2分野）

学年	単元	展示室	展示資料	活用のポイント
	生物の体のつくりと働き			
中2 （7月）	生物と細胞 植物の体のつくりと働き 葉・茎・根のつくりと働き	生物の分類 展示室 生態園		植物の葉、茎、根のつくりについての観察を行い、それらのつくりと、光合成、呼吸、蒸散の働きに関する実験の結果とを関連付けて理解させる。
中2 （10月）	動物の体のつくりと働き 刺激と反応 神経・骨格	生物の分類 展示室		動物が外界の刺激に適切に反応している様子を観察し、その仕組みを感覚器官、神経系及び運動期間のつくりと関連付けて理解させる。
中2 （11月～12月）	日本の気象 大気の動きと海洋の影響	房総の地学 展示室		気象衛星画像や調査記録などから、日本の気象を日本付近の大気の動きや海洋の影響に関連付けて理解させる。
中2 （12月）	自然の恵みと気象 災害	房総の地学 展示室		気象現象がもたらす恵みと気象災害について調べ、これらを天気の変化や日本の気象と関連付けて理解させる。

理科 中学校の学習内容（単元）と展示資料との関連表（例）

（第2分野）

学年	単元 生命の連続性	展示室	展示資料	活用のポイント
中3 (9月)	生物の種類の 多様性と進化	房総の 地学 展示室 生物の 分類 展示室		現存の生物および化石の比較などを通して、現存の多様な生物は過去の生物が長い時間の経過の中で変化して生じてきたものであることを体のつくりと関連付けて理解させる。
中3 (1月)	生物と環境 自然界のつり合い	房総の 生物 展示室 生物の 分類 展示室 生態園		微生物の働きを調べ、植物、動物及び微生物を栄養の面から相互に関連付けて理解するとともに、自然界ではこれらの生物がつり合いを保って生活していることを見出して理解させる。
中3 (2月)	自然環境の調査と 環境保全	自然と人 間のかか わり展示 室		身近な自然環境について調べ、様々な要因が自然界のつり合いに影響していることを理解するとともに、自然環境を保全することの重要性を認識すること。

<p>中3 (2月)</p>	<p>地域の自然災害</p>	<p>自然と人間のかかり展示室</p>		<p>地域の自然災害について、総合的に調べ、自然と人間とのかかり方について認識させる。</p>
<p>中3 (2月)</p>	<p>自然環境の保全と科学技術の利用</p>	<p>自然と人間のかかり展示室</p>		<p>自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察することを通し、持続可能な社会をつくることの認識。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人は、周りの環境に影響を与えたり受けたりしていることを学ぼう。